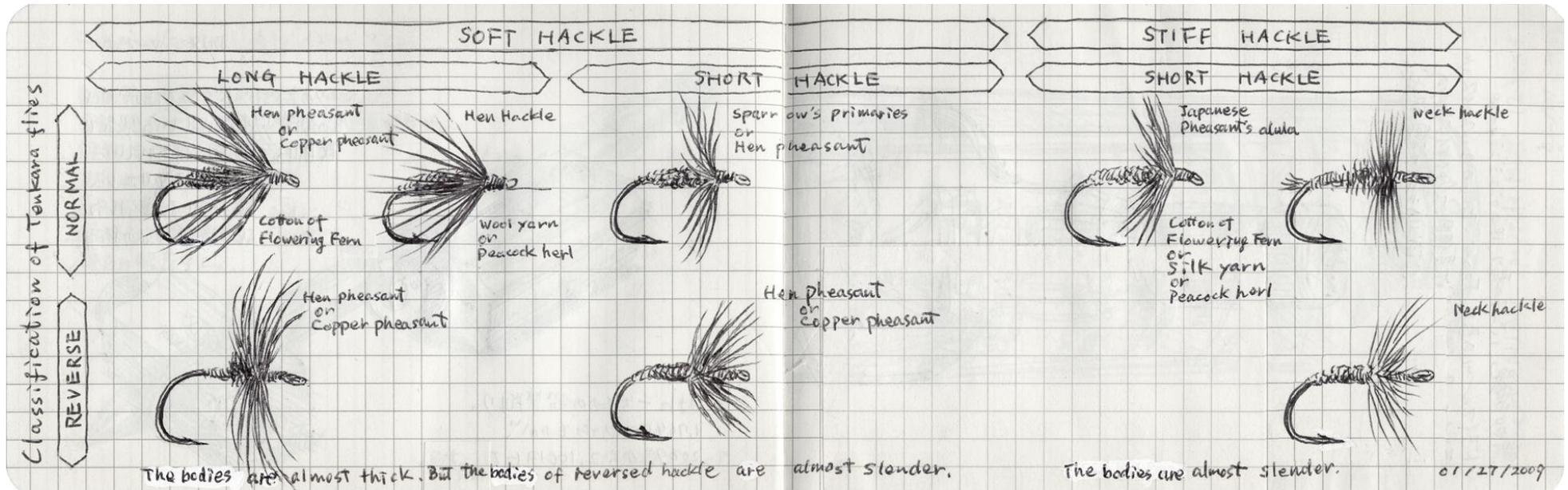


## ■ テンカラ毛鉤のパターン分類

私が収集している伝承毛鉤、書籍、インターネットなどからテンカラ毛鉤のパターンを調べた結果、テンカラ毛鉤は西中国山地・吉賀川の伝承毛鉤（羽の先端をトリプルフックに取り付ただけの毛鉤。）のような特殊なパターンを除き、下記の6パターンのいずれかに分類できる。

- (1) SOFT/LONG/NORMAL HACKLE PATTERN、(2) SOFT/LONG/REVERSE HACKLE PATTERN、(3) SOFT/SHORT/NORMAL HACKLE PATTERN、  
(4) SOFT/SHORT/REVERSE HACKLE PATTERN、(5) STIFF/SHORT/NORMAL HACKLE PATTERN、(6) STIFF/SHORT/REVERSE HACKLE PATTERN



(from my note)

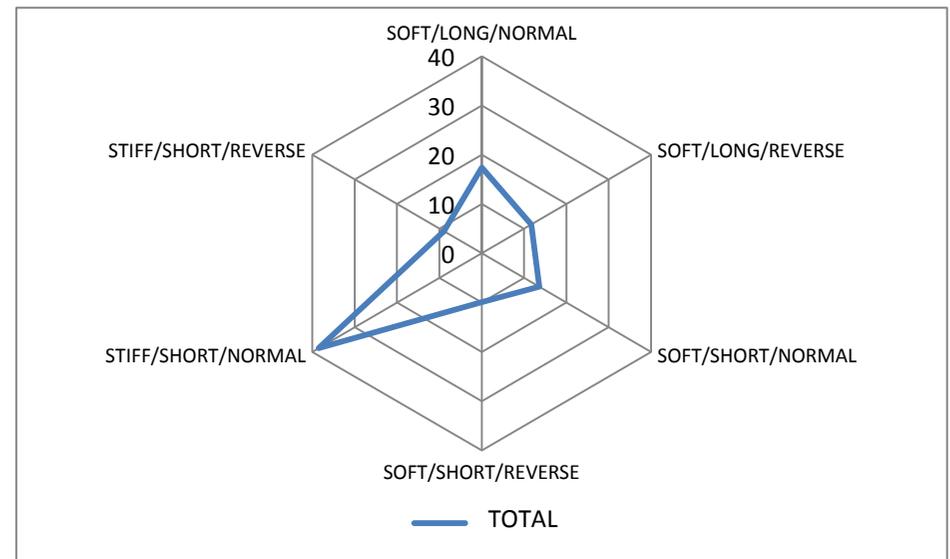
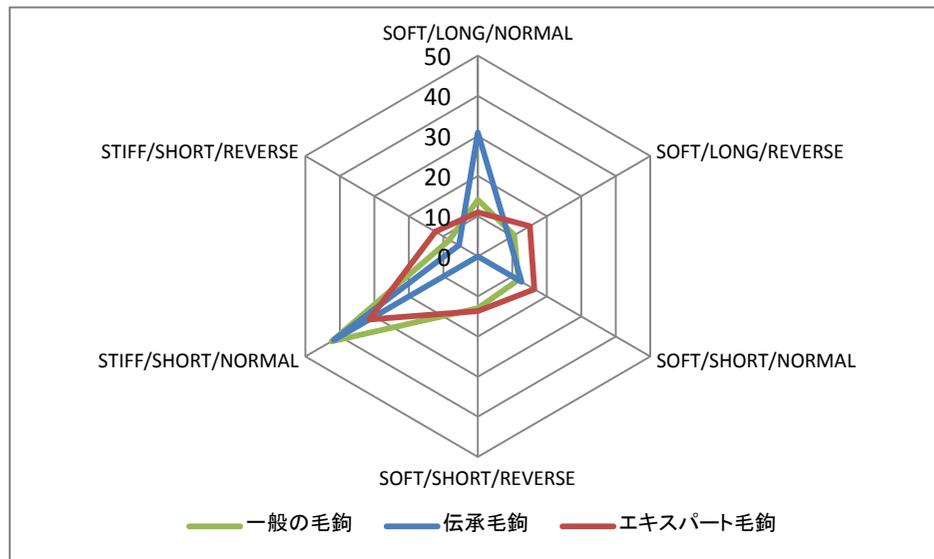
### <参考文献>

鱒釣り 附いわなやまめ 名著複刻「日本の釣」集成 目黒廣記著 アテネ書房 1979(1935)、日本のフライフィッシング かげろうの釣 加藤須賀雄著 つり人社 1977、別冊フィッシング第22号 入門日本のフライフィッシング 産報出版 1981、正統テンカラ 逆さ毛バリ複刻 右田政夫 つり人社 1995(1986)、幽境 岩手の釣り 山と溪谷社 1988、スーパーフィッシング テンカラの技術 桑原玄辰著 朔風社 1988、テンカラ奥義 山本素石編 朝日ソノラマ 1989、てんからFishing 毛鉤つりのすべて 山本素石編 池田書店 1989、別冊新魚シリーズNo.10 新アマゴヤマメのすべて 週刊釣りサンデー 1989、科学する毛バリ釣り 石垣尚男著 廣濟堂出版 1992、山漁 鈴野藤夫著 農山漁村文化協会 1993、実践テンカラ・テクニック 堀江溪愚著 山と溪谷社 1997、別冊フィッシング第63号 テンカラ倶楽部 廣濟堂出版 2000、別冊フィッシング第68号 テンカラ倶楽部vol.2 廣濟堂出版 2001、別冊フィッシング第74号 テンカラ倶楽部vol.3 廣濟堂出版 2002

## ■ テンカラ毛鉤のパターン分布

- 伝承毛鉤はSTIFF/SHORT/NORMAL、SOFT/LONG/NORMAL、SOFT/SHORT/NORMALの3パターンに特化している。次いで多いのはSOFT/LONG/REVERSE、STIFF/SHORT/REVERSEは少なく、SHORTかLONGかの区分が微妙なものもあるが、伝承毛鉤にはSOFT/SHORT/REVERSEのパターンは今のところ見つからない。
- エキスパート毛鉤はSTIFF/SHORT/NORMALが多いが、色々な釣リスタイルがあり、それに合った毛鉤がそれぞれ使われていると言える。
- 一般の毛鉤はSTIFF/SHORT/NORMALのパターンが特出している。テンカラ毛鉤はウエット、ドライの区別を特にしないが、ドライ毛鉤として作られたものも多い。最近ではメイフライパラシュートやカディスのようなウエスタンパターンのドライ毛鉤を使われる方も多く、自由にテンカラ釣リを楽しむスタイルができつつあるように思える。
- トータルではSTIFF/SHORT/NORMALのパターンが圧倒的に多い結果になっている。

HACKLE	SOFT/LONG/NORMAL		SOFT/LONG/REVERSE		SOFT/SHORT/NORMAL		SOFT/SHORT/REVERSE		STIFF/SHORT/NORMAL		STIFF/SHORT/REVERSE		TOTAL	
	Pattern qty	%	Pattern qty	%	Pattern qty	%	Pattern qty	%	Pattern qty	%	Pattern qty	%	Pattern qty	%
伝承毛鉤	17	30.9	5	9.1	7	12.7	0	0	23	41.8	3	5.5	55	100
エキスパート毛鉤	8	11	11	15.1	12	16.4	10	13.7	23	31.5	9	12.3	73	100
一般の毛鉤	12	14.1	9	10.6	10	11.8	11	12.9	36	42.4	7	8.2	85	100
TOTAL	37	17.4	25	11.7	29	13.6	21	9.9	82	38.5	19	8.9	213	100



### <パターン分布の検証のための条件>

- \* SOFT HACKLE は、雉や山鳥、雀、雌鳥など、または雄鳥でも薄く長く巻いた蓑毛。STIFF HACKLE は、雉や山鳥の剣羽、雄鳥の襟毛などの蓑毛。
- \* LONG HACKLE は、およそフトコロ(GAPE)の1.5倍以上。SHORT HACKLE は、およそフトコロ(GAPE)の1.5倍以下を目安とした。
- \* 同じ作者でパターンが同じ場合、蓑毛の違い以外(胴の素材の違いなど)は区別せず。伝承毛鉤も作者または地域でパターンが同じ場合は同様とした。
- \* 一般の毛鉤は、伝承毛鉤、エキスパート毛鉤とほぼ同じパターンでも1パターンとしてカウントした。
- \* テンカラ釣りに使用されていてもウエスタン フライ パターンもしくはそれに近いパターンは除外した。